

「日本型教育の海外展開推進事業（EDU-Port ニッポン）」 2020 年度の進め方について

< 5年間のロードマップ >

		重点地域	パイロット事業
2016 年度	プラットフォーム立 ち上げ	ASEAN 地域（特にベトナム・ タイ）・インド	個別事業を支援
2017 年度	プラットフォームの		
2018 年度	充実	上記に加え、 中東・中南米・アフリカ	上記に加え、コンソ ーシアムを支援
2019 年度	成果の検証・事業終		
2020 年度	了後の体制の検討		

※ 各省庁、民間事業者、関係機関のリソースを総合した事業推進により、

- ① 日本の教育の国際化
- ② 親日層の拡大
- ③ 経済成長への還元

の3つの成果目標に貢献する。

<2020 年度の取組>

1. パイロット事業

- 日本型教育の海外展開のモデル形成に資するため、プラットフォームを通じ集中的に支援し、併せて成果・課題を検証、共有
- 2021 年度からの新規事業（EDU-Port ニッポン 2.0(仮称)）の実施を見据え、民間資金や外部資金等を活用し、自立的な継続が可能な事業を支援

応募タイプ	①公認プロジェクト	②応援プロジェクト
経費支援	100 万円程度/件	経費支援なし
調整支援	推薦レター発行、現地関係機関との交渉調整支援など	
対象期間	2 年間（※経費支援は 1 年目のみ）	2 年間
採択件数（注 1）	新規 4 件程度	新規 10 件程度

（注 1）

※2019 年度採択事業（2019-2020）（公認・応援）については、今年度も引続き支援。

2. 調査研究事業

- これまでの「EDU-Port ニッポン」パイロット事業（全 53 件）の成果に対する学術的な調査分析を実施し、それらを踏まえた今後の日本型教育の海外展開の在り方等について提示する。

予算規模	計画額の上限：20,000 千円
対象期間	1 年間
採択件数	1 件程度

3. 有識者会議

・ステアリングコミッティ

- 有識者、関係省庁/機関の代表で構成
- プラットフォーム運営の基本方針策定
- 前年度事業全体のフォローアップ
- 重点地域・重点国を中心に、各省/機関/民間のリソース・連携のあり方を整理
- 新規事業（EDU-Port ニッポン 2.0（仮称））の検討

・幹事会

- 有識者、民間事業者、関係機関で構成（関係省庁はオブザーバー参加）
- 相手国ニーズ、日本側シーズの精査
- 新規パイロット事業の審査
- 「日本型教育の海外展開の在り方に関する調査研究事業」の審査

4. 国内向け分科会/セミナー/シンポジウム

-新しいテーマについての案件形成の土壌を形成

想定している取組例

- ・トピックセミナー（スポーツなど）
- ・EDU-Port シンポジウム（2021年3月（予定））

（参考） 2019年度の地域分科会・トピックセミナー開催状況

開催時期	分科会・セミナー	参加人数
9月	第1回中南米地域分科会	17名(内 SKYPE 参加3名)
9月	トピックセミナー(教師教育)	42名(内 SKYPE 参加12名)
10月	第2回中南米地域分科会	45名(内 SKYPE 参加7名)
10月	トピックセミナー(幼児教育)	42名(内 SKYPE 参加12名)
11月	ベトナム分科会	44名(内 SKYPE 参加6名)

5. 海外向けイベント

-海外に向けた日本型教育のPR、海外ニーズと国内シーズのマッチング

想定している取組例

- ・海外での教育見本市
- ・JASSO 留学フェア、JETRO 見本市等の際に日本型教育をPR

6. 広報ツールの開発・強化

想定している取組例

- ・ホームページ（海外発信機能を強化）、メールマガジン、SNS
- ・これまでの取組をまとめた広報用動画、パンフレットの作成
- ・日本型教育の特徴・優れた点を抽出・整理し、これを踏まえた広報ツールを開発

7. ニーズ・シーズ・リソースの収集

-海外ニーズ、国内シーズ、活用可能なリソースの収集

8. スケジュール

- ・2020年1月 第6回ステアリングコミッティ（メール会議）
- ・2020年3月 幹事会（第9回）（2020年度パイロット事業公募要領及び日本型教育の海外展開の在り方に関する調査研究事業公募要領の決定）
- ・2020年4月 新規パイロット事業及び調査研究事業の公募開始
- ・2020年5月 幹事会（第10回）（2020年度パイロット事業及び調査研究事業の審査）
- ・2020年6月 2020年度新規パイロット事業及び調査研究事業の開始
- ・2020年7月 第7回ステアリングコミッティ（来年度事業の検討）
- ・2020年9月 海外教育見本市への出展
- ・2021年2月 第5回 EDU-Port シンポジウム（成果報告・ネットワーキング）